



スポーツの力で
日本を元気に!

CHALLENGEDAY

今年で
5回目

甲斐市 チャレンジデー 2014

甲斐市チャレンジデーは
『スポーツ振興』
『健康づくり』
『世代・地域間交流』
『まちづくり』
を目的とした
住民参加型イベントです



5月28日(水)
午前0時～午後9時

15分以上継続して
スポーツや運動をした人の
参加率(%)で
対戦自治体と勝負!!
ゆりほんじょう

対戦相手は **秋田県由利本荘市**



対戦自治体との参加率勝負が注目されるチャレンジデーですが、イベントを通じて日常的にスポーツや運動をするようになることも、大きな目的のひとつです。チャレンジデーでの15分間の運動にラジオ体操を取り入れて、普段の生活の中でも取り組みながら、みんなで「ラジオ体操のまち・甲斐市」を目指しましょう!!

チャレンジデーには
『ラジオ体操』をしよう!!

甲斐市のラジオ体操普及のために

●平成25年度から、ラジオ体操普及への取り組みしている団体に「ラジオ体操優良団体表彰」を行ないます。(チラシの裏面をご覧ください)



チャレンジデー

とは、毎年5月の最終水曜日に世界各地で実施されているスポーツイベント。今回で22回目の開催となります。人口規模がほぼ同じ自治体同士が、午前0時から午後9時までの間に**15分以上継続して何らかの運動やスポーツをした人の『参加率(%)』**を競い合います。

甲斐市は2010年からチャレンジデーに参加、今年で5回目となります。

1回目

チャレンジデー2010
vs大分県中津市

(参加率:79.9%)

甲斐市参加率
81.3%

参加者数:60,601人
人口:74,521人

2回目

チャレンジデー2011
大阪府柏原市を
パートナーとして開催

甲斐市参加率
44.4%

参加者数:33,162人
人口:74,702人

3回目

チャレンジデー2012
vs大阪府柏原市

(参加率:73.3%)

甲斐市参加率
70.5%

参加者数:52,368人
人口:74,264人

4回目

チャレンジデー2013
vs埼玉県蕨市

(参加率:72.7%)

甲斐市参加率
73.9%

参加者数:55,018人
人口:74,487人

5回目
の今回は...!?

対戦相手は
秋田県

ゆりほんじょう
由利本荘市

甲斐市チャレンジデー 『ラジオ体操優良団体表彰』

甲斐市チャレンジデー実行委員会では、平成25年度より「ラジオ体操優良団体表彰」を行ないます。

- 地区でラジオ体操を毎週やっている。
- 毎朝、会社の朝礼でラジオ体操をしている。
- ラジオ体操のグループを作り、活動をしている。

このような団体で、次の推薦基準を満たしている場合には、表彰の対象となります。(自薦・他薦は問いません)
なお、表彰はチャレンジデー当日に行います。

《表彰推薦基準》

次の各項目を満たす団体であること

- 1 甲斐市にある団体(自治会、学校、会社等)
- 2 当該年3月末において、ラジオ体操を始めてから満1年以上継続しており、ラジオ体操の普及向上に寄与した功績が著しい団体。
- 3 毎回5名以上の参加者がある団体
- 4 ラジオ体操の実施日数が年間50日以上ある団体

※推薦方法など、表彰に関する詳細は、
チャレンジデー実行委員会までお問い合わせください。

『甲斐市チャレンジデー2014』基本ルール

実施日時	平成26年5月28日(水)午前0時～午後9時(21時間)
参加対象	甲斐市にいるすべての人が参加対象です。年齢・性別の制限もありません。 ※市民以外の在勤者、学生、観光客等も参加可能
実施方法	15分間以上続けてスポーツや運動した人の参加率を集計します。 参加率(%) = 参加者数(人) ÷ 74,636人 × 100 ※2月1日現在の人口
実施種目	15分間以上継続して行う運動やスポーツであればどんな種目でもOKです。
実施時間	午前0時から午後9時までの間であればいつでもOKです。
実施場所	甲斐市内であれば自宅や学校、職場、スポーツ施設等どこでもOKです。
参加報告	運動やスポーツなどをした人は甲斐市チャレンジデー実行委員会本部に報告してください。報告方法は「①参加報告書を直接提出」「②電話」「③FAX」「④市ホームページからメールで報告」のいずれか1つをお選びください。なお、報告締め切りは5月28日(チャレンジデー当日)の午後9時30分です。

- 開催イベントの詳細
- 参加報告書
- 報告専用電話番号
- 報告専用FAX番号

等を掲載したチラシは
4月下旬
配布予定です

※チャレンジデー当日以外の日に行なった運動は報告の対象にはなりません。
※当日の午後9時30分以降の参加報告は無効となります。翌日以降の報告も参加率には反映されません。

公正な参加率を算出するため、参加報告は『1人1回』とします